

Think

シンク



特集

- 令和7年度事業計画 3P
- 新役員等紹介 4P

施設紹介

- 社会福祉法人邑元会 しき彩の杜いろは 5P



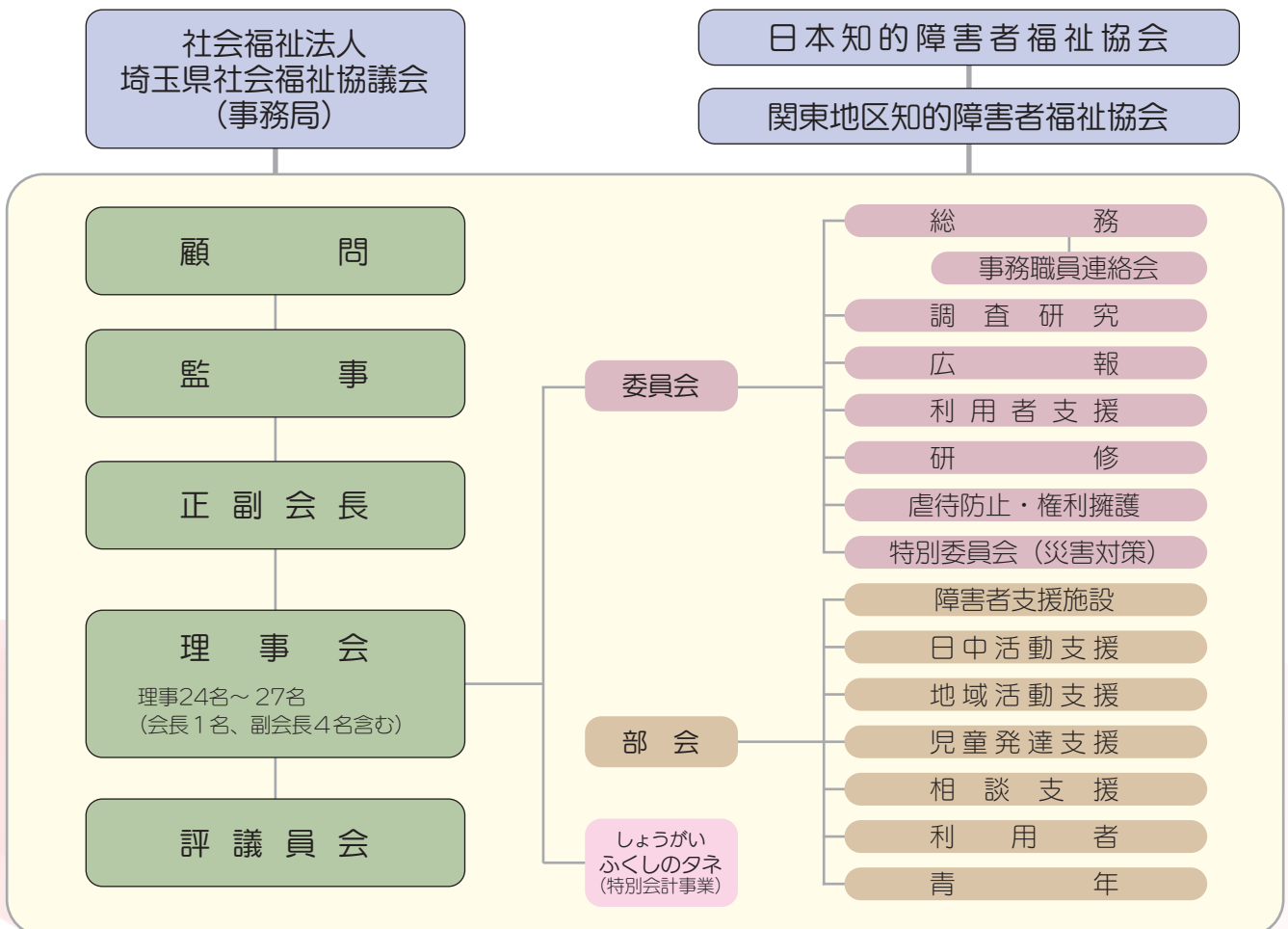
埼玉県発達障害福祉協会の目的

障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現させる（会則第2条）

基本方針

1. 協会は障害のある人たちの権利を擁護し、協会活動への当事者参加を推進するとともに、障害のある人たちの理解を広げる啓発を行い、共生社会の実現を目指します
2. 協会は国や埼玉県等に会員の実情や声を伝え、政策や制度に関する要望や提案をしていきます
3. 協会は会員のつながりを活かして、地域における連携やネットワークづくりを進め、地域福祉の向上に寄与します
4. 協会は様々な機会の創出を目指し、協力して人材の確保・定着・育成に努めます
5. 協会は会員の社会貢献の一助となるべく、公益的取り組みや災害等の非常時の共助を推進します
6. 協会はつねに変化する社会や地域の状況に応じ、組織強化を図ります

組織図



令和7年度重点事業

(1) 物価高騰対策、賃金アップのための要望

- 国・県への物価高騰、人材確保、職員待遇の改善に関する各種要望（正副・総務委員会）
- 各部会での要望に関する意見集約、課題把握の強化（利用者部会、他各部会）
- 会員に向けた国、日本知的障害者福祉協会等の情報の速やかな発信（事務局）

(2) 福祉人材の確保・育成の取り組み

- 若年層に向けた情報発信、啓発・交流事業（しょうがいふくしのタネ、広報委員会）
- 会員ニーズに応じた各種研修、県外視察等の実施（各部会、研修委員会等）

(3) 会員拡大に向けた取り組みの実施

- ホームページのリニューアルと定期更新による情報発信の強化（広報・事務局等）
- 入会案内パンフレットの作成（正副・総務委員会・事務局）
- 準会員の加入要件、会費等の見直しの検討（正副・総務委員会定期合同会議）

(4) 障害のある人たちの活動や社会貢献に寄与する取り組みの継続

- 利用者の社会参加の推進と取り組みの発信強化（利用者部会、利用者支援委員会等）
- 埼玉県主催の各種研修および事業等への協力の継続（理事会）
- 会員の社会貢献活動（災害対応、生活困窮支援等）に関する情報の提供および各種事業への協力（理事会）
- 災害、感染症等の備えとしての防災倉庫の設置拡充（災害対策委員会）
- 共生社会を見据えた非会員事業所、他分野団体等との交流、情報交換（理事会）

(5) 協会の組織強化

- 事務局の機能強化のための業務委託料の増額
- 理事定数の増員と担当業務の分散
- 役員旅費規程等の策定
- 埼玉県等の行政との連携強化

令和7年度予算概要

【収入の部】

科 目	本年度予算額
1 会費収入	5,080,000
2 補助金収入	140,000
3 事業収入	4,813,000
4 助成金収入	126,000
5 寄付金収入	1,000
6 雑収入	1,000
7 特別会計繰入金収入	0
8 繰越金収入	12,025,771
合 計	22,186,771

【支出の部】

科 目	本年度予算額
款	
1 会議費	830,000
2 事務費	4,740,000
3 事業費	3,635,000
4 諸支出金	2,134,000
5 予備費	10,847,771
合 計	22,186,771

役員名簿

(任期：令和7・8年度、順不同・敬称略)

役職名	氏名	所属名	職名	選出部会
会長 (理事)	長岡 洋行	どうかん	総合施設長	障害者支援施設部会
副会長 (理事)	白石 孝之	りんごの家	施設長	障害者支援施設部会
副会長 (理事)	酒井 依子	第2たかさご荘	管理者	地域生活支援部会
副会長 (理事)	岡部 浩之	さやか	総合施設長	地域生活支援部会
副会長 (理事)	松永 斉	めぐみ園	事務局長	障害者支援施設部会
理事	長岡 均	江南愛の家	施設長	会長推薦
〃	倉上 重文	美里会	常務理事	〃
〃	中村 秀樹	久喜けいわ	施設長	〃
〃	内山 智裕	けやきの郷	総務部長	〃
〃	長原 千栄	嵐山郷	事業推進部長	〃
〃	相浦 卓也	しびらき	施設長	障害者支援施設部会
〃	佐藤 義剛	梨花の里	施設長	〃
〃	高澤 守	杉の子学園	相談地域課長	〃
〃	内山 洋史	デイセンターウィズ	施設長	日中活動支援部会

役職名	氏名	所属名	職名	選出部会
理事	齊間 匡彦	平徳会	総合施設長	日中活動支援部会
〃	松本 哲	川口太陽の家	総合施設長	〃
〃	山本 宏	さくら草	総合施設長	〃
〃	四方田勇介	ワークスしんあい	主査	〃
〃	根岸 瑞栄	第二はぐくみ園	総合施設長	〃
〃	清水 剛	ウイング	統括施設長	地域生活支援部会
〃	柏田愛希子	久美愛園	施設長	児童発達支援部会
〃	服部 幸子	わかゆり学園	児童係係長	〃
〃	伴野 智	ひまわり学園	育成課長	〃
〃	山路 久彦	さいたま市大宮区障害者生活支援センターみぬま	管理者	相談支援部会
〃	大野 真	障害者相談支援センターなすな	相談支援専門員	〃
〃	高畑 勇斗	りんごの家	主任	青年部会
監事	新井 浩	さいたま市社会福祉事業団機の木	所長	
〃	宇藤 玉枝	親愛南の里	施設長	

正副部会長名簿

(任期：令和7・8年度、順不同・敬称略)

障害者支援施設部会

役職	氏名	所属名・職名
部会長	白石 孝之	りんごの家 総合施設長
副部会長	相浦 卓也	しびらき 施設長
副部会長	松永 斉	めぐみ園 事務局長

日中活動支援部会

役職	氏名	所属名・職名
部会長	内山 洋史	デイセンターウィズ 施設長
副部会長	齊間 匡彦	平徳会 総合施設長

地域生活支援部会

役職	氏名	所属名・職名
部会長	酒井 依子	第2たかさご荘 管理者
副部会長	岡部 浩之	さやか 総合施設長

児童発達支援部会

役職	氏名	所属名・職名
部会長	柏田愛希子	久美学園 施設長
副部会長	服部 幸子	わかゆり学園 児童係係長

青年部会

役職	氏名	所属名・職名
部会長	高畑 勇斗	りんごの家 主任
副部会長	原 萌恵	志木彩の杜いろは 支援員
副部会長	清水 陽子	久喜けいわ 主任支援員
副部会長	中山 舞	居宅介護事業所ばればれ リーダー

相談支援部会

役職	氏名	所属名・職名
部会長	山路 久彦	さいたま市大宮区障害者生活支援センターみぬま 管理者
副部会長	大野 真	障害者相談支援センターなすな 相談支援専門員

正副委員長名簿

(任期：令和7・8年度、順不同・敬称略)

総務委員会

役職	氏名	所属名・職名
委員長	齊間 匡彦	総合施設長
副委員長	中村 秀樹	久喜けいわ 施設長

調査研究委員会

役職	氏名	所属名・職名
委員長	山本 宏	さくら草 総合施設長
副委員長	君島 勇一	報恩施設 施設長

広報委員会

役職	氏名	所属名・職名
委員長	四方田勇介	ワークスしんあい 主査
副委員長	内山 洋史	デイセンターウィズ 施設長

利用者支援委員会

役職	氏名	所属名・職名
委員長	佐藤 義剛	梨花の里 施設長
副委員長	塩田奈都子	めぐみ園 リーダー

研修委員会

役職	氏名	所属名・職名
委員長	大野 真	障害者相談支援センターなすな 相談支援専門員
副委員長	山下 朋和	すいーつばたけ 所長

虐待防止・権利擁護委員会

役職	氏名	所属名・職名
委員長	相浦 卓也	しびらき 施設長
副委員長	梅田 耕	川口市障害者相談支援センターみぬま 主任相談支援専門員
副委員長	竹野谷 秋	さいたま市岩槻区障害者生活支援センター 相談支援専門員

災害対策委員会 (特別委員会)

役職	氏名	所属名・職名
委員長	内山 智裕	けやきの郷 総務部長
副委員長	岡部 浩之	さやか 総合施設長
副委員長	那須野 豊	どうかん 施設長

『しき彩の杜いろは』

「しき彩の杜いろは」は、生活介護20名・就労継続支援B型10名の多機能型事業所です。この度、令和5年7月に協会に加入させていただきました。

社会福祉法人邑元会は、平成14年にさいたま市に「障害者支援施設しびらき」を開設し、障害福祉事業を始めました。荒川を挟んで対岸にある志木市には、長らく障害のある



方々のグループホームが1か所もありませんでしたが、令和元年4月に、志木市福祉センターの跡地を活用し、市内初のグループホームとして「しびらきハウスしき彩の杜」を整備しました。併設の「相談センターしき彩の杜」では、市からの委託相談と計画相談も実施しています。

「いろは」は、そのグループホームから徒歩1分の立地に、同年8月に整備した通所施設です。11月には、1階に「パンとピザのおみせHOHOME」(ほほえみ)を開店し、地域の皆様に親しんでいただいています。翌年には、いろはの裏手に「しびらきハウス志木中宗岡」を2棟開設し、これらを総称して「しき彩の杜」と呼んでいます。

この一帯には、古くから続くお祭りが行われる神社もあり、いろはの利用者さん・職員は、普段から『四季おりおりの彩り』にあふれる環境で活動しています。

生活介護では、利用者さんそれぞれ



れの好みに応じて、軽作業や自主製品づくり、外活動や農作業などに取り組んでいます。就労継続支援B型では、HOHOMEでの製パン、地域の施設・大学等への納品・販売、市役所の清掃などを行っています。令和元年の台風や、その後のコロナ禍で、開設当初は活動にさまざまな制限がありました。最近では季節を感じるイベントや旅行、音楽や芸術活動などをめいっぱい行えるようになりまし。

HOHOMEのお客様をはじめ、住民のみなさんとの日常的な接点が多く、地域の方々のご理解にはとても恵まれています。この数年の夏の神社のお祭りと、秋の「しき彩

祭り」は、お互いに地域の方々と一緒につくりあげる形となり、大いに盛り上がりました。現在、志木・新座・朝霞の3市から通っていただいている利用者さんにとっては、身近にあたたかい地域を感じることできる事業所です。

近隣には市役所と川沿いに整備された公園等のエリアがあり、いろはの由来となった「いろは橋」や「いろは樋」といった歴史を感じるスポットもあります。お近くにお越しの際は、ぜひしき彩の杜にも足を運んでみてください。パンとピザ、とってもおいしいですよ！



「知的障がい」や「自閉症」「発達障がい」「ダウン症」等の障がいのあるお子さまのために
“親なきあと”をサポートするご提案です

未来あんしんサポート[®]



障がいのあるこの子が
お金の管理を
できるか心配…

この子が経済的に
困らないように
してあげたい。

自分がまだ元気なうちは、
毎年うけとるお金を使って
この子と一緒に楽しみたい

『未来あんしんサポート』は、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。

「生命保険」と「信託」が“親御さまの想い”を確実に未来へのこします

障がいのあるお子さまの親御さまは、「親なきあと」の生活がご心配のことかと思えます。

『未来あんしんサポート』は、“親あるあいだ”に“親なきあと”をご準備いただくためのご提案です。

“生命保険信託”の仕組みによって、親御さまがお亡くなりになった場合に生命保険会社がお支払いする保険金を、みずほ信託銀行がお子さまのための財産として管理しながら、定期的にお子さまにお届けします。

お問合せや
資料のご請求は
こちらへ

未来あんしんサポートに
関するお問い合わせ

ジェイアイシー
生命保険信託相談ダイヤル

0120-580-503

通話料
無料

受付時間:
月～金(祝日・年末年始を除く)
9:00～17:00

- 未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。
- (株)ジェイアイシーの担当者(生命保険募集人)は、お客さまと各生命保険会社の保険契約締結の媒介を行う者で、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約はお客さまからの保険契約のお申込みに対して各生命保険会社が承諾したときに有効に成立します。
- (株)ジェイアイシーは「個人情報保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、(株)ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。
- 当資料は、2025年5月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。

[生命保険募集代理店・信託契約代理店]

JIC 株式会社ジェイアイシー

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F

ホームページ www.jicgroup.co.jp

生命保険信託相談ダイヤル 0120-580-503 (通話料無料)

受付時間: 月～金(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00

[所属信託会社]

みずほ信託銀行株式会社

[生命保険引受保険会社]

第一フロンティア生命保険株式会社

または

マニユライフ生命保険株式会社